## 教科名:理科

## 【 生物基礎 】 ルーブリック評価表

観点	内容のまとまり	評価規準	評価基準			評価方法
			A	В	С	
知識・技能	(1)生物の特徴	①生物は多様でありながら、共通	①生物の多様性と共通性について	①生物の多様性と共通性につい	①生物の多様性と共通性について	定期考査
	(2)遺伝子とそのはたらき	点があることを理解している。	例を挙げて説明できる。	て理解できている。	理解できていない。	小テスト
	(3)ヒトの体の調節	②中学校で学習した内容につい	②中学校の学習内容を十分に理解	②中学校の学習内容はおおよそ	②中学校までの学習内容の理解が	提出物
	(4)生物の多様性と生態系	て理解している。	し、発展的な知識を得ている。	理解している。	不十分である。	
		③器具を用いて正しく観察・実験	③自分で適切な実験・観察器具を	③指示された実験・観察器具を	③実験・観察器具を的確に操作・	
		を行える。	選択し、正しく操作・使用するこ	操作・使用することができる。	使用することができない。	
			とができる。			
思考・判断・表現	(1)生物の特徴	①実験・観察で得られた結果か	①得られたデータから、規則性、	①教科書や参考となる比較デー	①データが不正確であり、規則性、	定期考査
	(2)遺伝子とそのはたらき	ら、規則性、共通性や多様性等を	共通性・多様性等を正しく導くこ	タから規則性、共通性・多様性等	共通性・多様性等が導かれていな	小テスト
	(3)ヒトの体の調節	見いだしている。	とができている。	に気付いている。	γ <sub>2</sub> °	提出物
	(4)生物の多様性と生態系	②科学的な根拠を基に考察して	②考察の内容に対し、説得力のあ	②考察の内容に、特に根拠が見	②考察の内容が十分に示されてい	
		いる。	る科学的な根拠が示されている。	られない。	ない。	
主体的に学習に	(1)生物の特徴	①主体的に授業に参加し、実験・	①教員の発問に対して積極的に応	①教員が指名すれば応答する。	①授業への取り組みが不十分で、	定期考査
取り組む態度	(2)遺伝子とそのはたらき	観察を行うことができる。	答し、グループの中心として観察・	グループでは補佐的な役割を担	実験・観察に積極的に参加しない。	提出物
	(3)ヒトの体の調節	②理科の見方・考え方を基に、考	実験を行っている。	っている。	②身近な生命現象に対しても興	授業への取り組み
	(4)生物の多様性と生態系	察しようとしている。	②身近な生命現象についても科学	②学習内容に関連する身近な生	味・関心が見られない。	
		③他者と対話をしながら、評価を	的な根拠をもとに理解しようとし	命現象について、例を挙げるこ	③グループ内の対話への参加が不	
		互いに行い、自分の考察を検討し	ている。	とができる。	十分である。	
		改善しようとしている。	③協調性をもって、科学的根拠を	③グループ内の対話に参加する		
			もとに対話することができる。	が、根拠は不十分である。		